

## ●今後の土地問題を考える研究会

目的	人口減少、市街地縮退時代の土地利用計画の在り方とその実現手段について、計画およびルール の側面から研究を行う。	
メンバー	小林重敬（座長、東京都市大学教授）、大村謙二郎（筑波大学名誉教授）、 鎌野邦樹（早稲田大学教授）、中井検裕（東京工業大学教授）、 中城康彦（明海大学教授）、横張真（東京大学教授）	
開催状況	開催日	内容
第12回	2014年 12月24日（予定）	研究会の取りまとめについて（予定）

## ●今後の土地問題を考える研究会 広域レベル検討部会

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市圏レベルの空間構成の中で土地問題を考える</li> <li>・マクロな空間制御手法による土地対策を考える</li> </ul>	
メンバー	大村謙二郎（部会長、筑波大学名誉教授）、中井検裕（東京工業大学教授）、 横張真（東京大学教授）、姥浦道生（東北大学准教授） 角松生史（神戸大学教授）、 瀬田史彦（東京大学准教授）、森本章倫（早稲田大学教授）	
開催状況	開催日	内容
第8回	2014年 12月8日（予定）	報告書のとりまとめについての議論（予定）

## ●今後の土地問題を考える研究会 地区レベル検討部会

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区レベルの空間構成の中で土地問題を考える</li> <li>・ミクロな地区レベルの空間制御手法で土地対策を考える</li> </ul>	
メンバー	鎌野邦樹（部会長、早稲田大学教授）、小林重敬（東京都市大学教授）、 中城康彦（明海大学教授）、雨宮護（筑波大学准教授）、大沢昌玄（日本大学准教授）、 名和田是彦（法政大学教授）、吉田克己（早稲田大学教授）	
開催状況	開催日	内容
第8回	2014年 12月10日（予定）	委員からの報告および議論（予定）

## ●転換期を迎えた土地法制度研究会

目的	縮減の時代にふさわしい土地利用のコントロール手段の必要性、都市行政と市民、国土計画と都市計画との関係、都市基盤施設をめぐる状況等について、課題の解決に向け、土地法制度の面から基礎的研究を行う。	
メンバー	座長：巨理格（北海道大学教授） 幹事：生田長人（東北大学名誉教授）、久保茂樹（青山学院大学教授） 委員：西田幸介（法政大学教授）、野田崇（関西学院大学教授）、 長谷川貴陽史（首都大学東京教授）、洞澤秀雄（南山大学准教授）	
開催状況	開催日	内容
第25回	2014年 10月30日	委員からの報告および議論
第26回	2014年 11月27日（予定）	委員からの報告および議論（予定）
第27回	2014年 12月25日（予定）	委員からの報告および議論（予定）
第28回	2014年 1月22日（予定）	未定

## ●民法改正問題勉強会

民法改正問題勉強会は次のような課題について研究を行う。
-----------------------------






目的	(1)民法改正の動向把握（法務省、不動産業界団体、中間試案に対する意見その他） (2)土地・不動産問題、不動産業界、不動産実務、行政等に与える影響とその問題点の把握 (3)対応の考え方 (4)民法改正後の「ガイドライン」（指針）の必要性、その内容 (5)民法改正を踏まえた宅建業法の位置づけ、在り方の問題整理 (6)今後の取り組み体制の在り方 (7)以上のほか、民法改正問題全般に関すること	
メンバー	座長：松原文雄（弁護士、元国交省土地・水資源局長） 委員：松田弘（弁護士）、熊谷則一（弁護士）、小林勇（全宅連常務理事）、 望月治彦（三井不動産総務部統括）、黒川義典（三菱地所法務・コンプライアンス部副長）、 藤條邦裕（前土地総研理事長） オブザーバー：清瀬和彦（国交省不動産課 課長）	
開催状況	開催日	内容
第16回	2014年 10月20日	民法改正の論点についての検討
第17回	2014年 12月28日(予定)	民法改正の論点についての検討（予定）

● 金融緩和期における不動産経済に関する研究会


目的	・金融緩和の下で、景気動向や金融情勢が不動産市場等にどのような影響を及ぼしていくのかについて、実証的、理論的な研究を行う。
メンバー	座長：倉橋透（獨協大学教授） 委員：清水千弘（麗澤大学教授）、唐渡広志（富山大学教授）、中神康博（成蹊大学教授）

 [\\*これまでの開催状況はこちらをご覧ください。](#)

●特集 土地利用の今日的課題

<p> <a href="#">土地利用計画制度の改革の必要性和計画体系のあり方</a></p>	<p>水口 俊典 (芝浦工業大学 名誉教授 ・土地利用計画制度研究会)</p>
<p> <a href="#">都市と農村の有機的連携と土地利用方策</a></p>	<p>鈴木 浩 (明治大学 客員教授・ 福島大学 名誉教授)</p>
<p> <a href="#">D.I.D指標にみる都市縮小の現況とその特性に関する研究 - 地方都市の線引き都市を対象として -</a></p>	<p>浅野 純一郎 (豊橋技術科学大学 准教授)</p>
<p> <a href="#">市街地の外側で今後考えていくべき土地利用制度とは？ - 3つの視点から我が国の土地利用制度が取るべき方策を考える -</a></p>	<p>松川 寿也 (長岡技術科学大学 環境・建設系 助教)</p>
<p> <a href="#">被災3年後の復興における土地利用計画的課題 - 超低密市街地の汎発 -</a></p>	<p>姥浦 道生 (東北大学 准教授)</p>



●寄稿

<p> <a href="#">グローバル及び日本の不動産市場概観とアジア富裕層による マンション投資動向</a></p>	<p>赤城 威志 (JLL リサーチ事業部長) 佐藤 健太郎 (JLL インターナショナルプロパティセールス シニアマネジャー)</p>
--	--



●連載 日仏の地区詳細計画の意義と実態【第2回】

<p> <a href="#">日仏の地区詳細計画における比較の視点</a></p>	<p>内海 麻利 (駒澤大学 法学部 教授)</p>
---	--------------------------------

●研究ノート

<p> <a href="#">不動産の譲渡所得税制等をめぐる若干の整理と研究</a></p>	<p>荒井 俊行 (一般財団法人 土地総合研究所 専務理事)</p>
<p> <a href="#">地域別不動産価格指数の活用可能性 - 金融政策効果の分析における地域データの適用事例から考える -</a></p>	<p>大越 利之 (一般財団法人 土地総合研究所 研究員)</p>

●講演録

<p> <a href="#">第178回定期講演会 講演録 「土壌汚染地の保有と対策・費用」 *資料はこちら</a></p>	<p>森島 義博 (明海大学 不動産学部 客員教授) 八巻 淳 (清水建設株式会社 土壌環境事業部 工事長)</p>
<p> <a href="#">第179回定期講演会 講演録 「平成26年版 土地白書について」 *資料編はこちら</a></p>	<p>河田 浩樹 (国土交通省 土地・建設産業局 参事官(土地市場担当))</p>

\* 土地総合研究2014年秋号は11月末刊行予定

### ●【募集】第182回定期講演会

演題：不動産事業者のための相続税法改正・居住用財産特例制度  
講師：大久保 昭佳氏（大久保税理士事務所 相続税専門 税理士）  
日時：平成26年12月1日（月）14:00～16:00  
場所：場所：日本消防会館（大会議室）

[こちらのフォームからお申し込みください（参加無料）](#)

### ●【募集】特別セミナー

題目：不動産投資のためのファイナンス入門  
（1日目：第1部）不確実な世界と資産の価値  
（2日目：第2部）資金調達と資本コスト  
講師：前川 俊一氏（明海大学 不動産学部 教授）  
日時：（1日目：第1部）平成26年11月5日（水）13:00～16:45  
（2日目：第2部）平成26年11月6日（木）13:00～16:45  
参加費：（一般の方）3,000円  
（賛助会員）無料  
定員：30名  
場所：日本消防会館（第一会議室）

[詳細はこちら](#)

### ● [定期講演会講演録](#)

## リサーチメモ（土地総合研究所）

- [ニューヨーク市とその郊外における人口増加の逆転－東京との比較－](#)
- [「START UP NATION－イノベーションと起業で輝く国を目指して－」シンポジウムより](#)
- [2000年のノーベル賞経済学者ジェームズ・ヘックマン教授講演「能力の創造」を巡って](#)
- [26年都道府県地価調査の結果について ～地価、バラツキが拡大？～](#)
- [和歌山県の移住推進空き家活用事業について](#)
- [「金融システムレポート」（日本銀行、2014年10月）に見る不動産市場分析の紹介](#)

## 研究所からのご案内

[経済情報](#)[不動産情報](#)[トピックス](#)[不動産研究](#)

- 1.過去のデータ等は、[ホームページ](#)をご覧ください。
- 2.メールマガジンの配信をご希望される方をご紹介ください。  
ご紹介いただける場合は、[登録フォーム](#)をご案内ください。

今号も最後までご覧いただきありがとうございました。  
本メールマガジンの配信の停止を希望される方は、[解除フォーム](#)より送信してください。